

益城の文化財

えん ま 閻魔堂

—馬水北—



閻魔大王と地藏菩薩が祀ってある閻魔堂

馬水の村中に閻魔堂があり、堂内には「閻魔大王」と「地藏菩薩」が祀られています。ここは人の往来が多く、子どもたちの遊び場でもありました。それで、先祖の人たちは死後の安楽と現世利益の祈りの場として守ってこられました。

仏教には、六道輪廻転生の考え方があります。すべての生き物には生前の行いによって六つの世界、「天道」「人道」「修羅道」「畜生道」「餓鬼道」「地獄道」のどれかに生まれ変わると考えました。地藏菩薩は、六道をさまよっている人を探し救って浄土へ導いてくれるのです。

一方、日本に仏教が伝えられ、中国の道教信仰と結びついて、十王思想が生まれました。死後の私たちを冥界（あの世）に迎え入れるために、生前の行いを調べ、裁くという考え方です。

【初七日目】「秦広王」が裁き、罪深い者は深い淵へ連れて行かれ三途の川を渡ります。【十四日目】「初江王」が調べ、

【二十一日目】「宋帝王」が調べ、【二十八日目】「五官王」が調べ、【三十五日目】「閻魔大王」が死者を六道のどこに生まれ変わるか決め、【四十九日目】「変成王」が生まれ変わる条件を決め、六道のどこかに送られます。【百日目から】「平等王」、「一周忌」「都市王」、

【三周忌】「五道転輪王」たちが遺族の追善供養を調べて再審します。

十人の王たちが死者をさばき、地藏菩薩が救うという考えは鎌倉時代に始まったといわれています。堂の横には板碑もあります。

今も地藏菩薩と閻魔大王は、道行く人に仏の教えを説いているようです。

参考文献 岩崎和子著『仏像がわかる本』

益城町文化財保護委員会

俳句

早川宏次 選

暖かき日にこなしゆく大掃除
寄り添いし案山子の嫁は雪化粧
赤い実の新雪被るナナカマド
紅葉に風吹く由布岳奥豊後
朝もやにけたたましくももずの声

広崎 松原まゆみ
木山 増岡 伸禧
惣領 阪口 基明
惣領 新居 露子
惣領 阪口由美子

狂句

田上富岳 選

思い当たり 不倫旅行が導火線
思い当たり 女の勘はするどかつ
思い当たり やっぱもつこすぎだったばい
思い当たり やっぱあれが悪かった
思い当たり ひっかかる前氣付かした
癖になり やせて細った親の脛すね
癖になり この味出せりや世話いらん
癖になり またパチンコに行かしたつ
癖になり 突っ張ってきた欲の皮
癖になり 早よなおしとけピーナツは

惣領 阪口 基明
宮園 永瀬 美波
江津 高田美佐子
広崎 松原まゆみ
宮園 井藤 吉郎
木山 増岡 酔粹
宮園 岩本よろこ
江津 高田 誠治
寺迫 左 喜樹
島田 堀川 骨鶏

狂句次号の課題 「向き不向き」 「今年こそ」

投稿は役場広報係まで。漢字は読み方を記入。
投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。
※数種に投稿される場合は、別にお送りください。